

2023年3月期第3四半期 決算説明会



2023年1月30日
株式会社トプコン
取締役兼常務執行役員
CFO 財務本部長
秋山 治彦



会社紹介
ビデオ

2023年3月期第3四半期 決算説明会

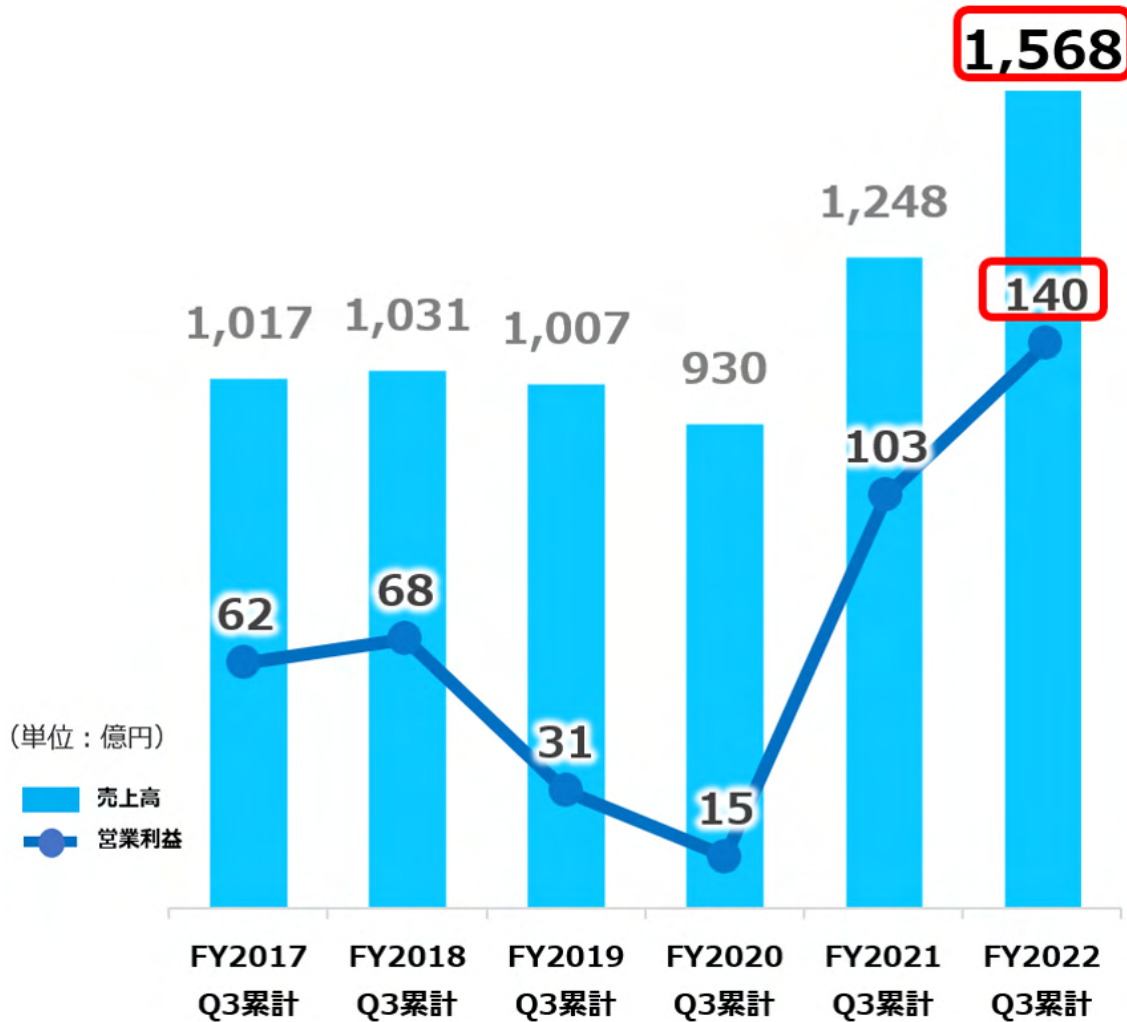
- I. 2023年3月期第3四半期 決算報告
- II. 2023年3月期 通期見通し
- III. トピックス
- IV. まとめ
- V. 参考資料

I . 2023年3月期第3四半期 決算報告

I-1. 2023年3月期第3四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

FY2022 Q3累計決算概要



■ 大幅増収増益 売上高・利益 過去最高を更新

- ICT自動化施工、IT農業、スクリーニングビジネス等の成長事業が売上増を牽引
- 部材不足、部材・物流費高騰影響が継続

FY2022 Q3累計実績

■ 売上高・利益 過去最高

(単位：百万円)

	FY2021 Q3累計実績	FY2022			
		Q3累計実績	前年同期比	前年同期比%	
売上高	124,834	156,790	31,955	+26%	
売上総利益 (売上総利益率)	63,959 (51.2%)	81,465 (52.0%)	17,506		
販管費	53,611	67,491	13,879		
営業利益 (営業利益率)	10,347 (8.3%)	13,974 (8.9%)	3,626	+35%	
営業外損益	△1,101	△1,409	△307		
経常利益	9,246	12,565	3,318	+36%	
特別損益	292	△462	△754		
税引前利益	9,538	12,103	2,564		
四半期純利益	5,752	7,859	2,106	+37%	
為替 換算レート (期中平均)	USD EUR	111.38円 130.85円	135.40円 140.42円	24.02円 9.57円	

FY2022 Q3累計事業別実績

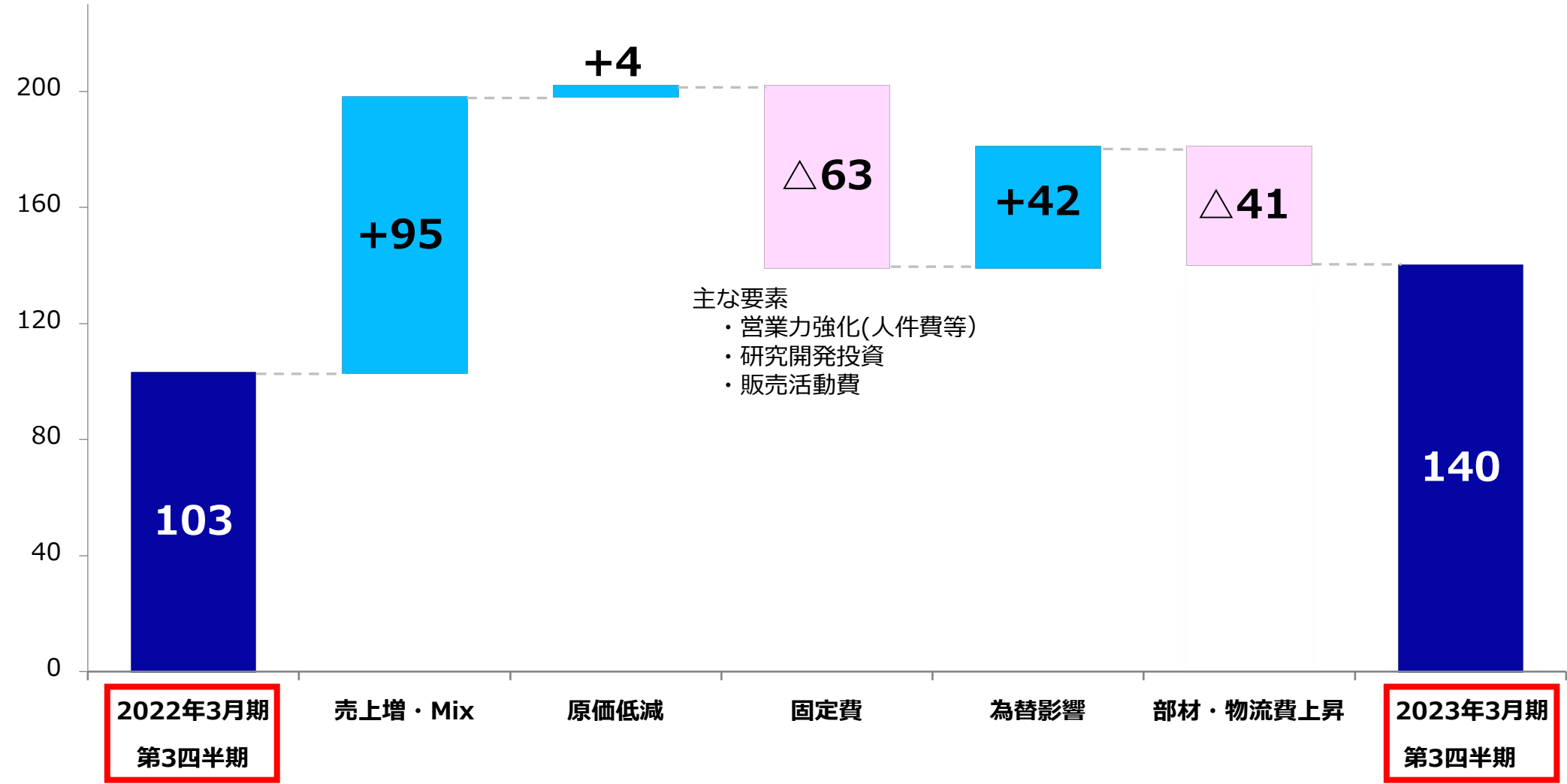
■ 全事業で増収

(単位：百万円)

		FY2021	FY2022		
		Q3累計実績	Q3累計実績	前年同期比	前年同期比%
売上高	ポジショニング	67,812	90,488	22,675	+33%
	スマートインフラ	28,027	30,636	2,609	+9%
	アイケア	41,360	49,289	7,929	+19%
	その他	867	913	46	
	消去	△13,233	△14,538	△1,304	
	合計	124,834	156,790	31,955	+26%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	7,248 (10.7%)	11,009 (12.2%)	3,761	+52%
	スマートインフラ	4,405 (15.7%)	3,275 (10.7%)	△1,130	△26%
	アイケア	1,983 (4.8%)	3,329 (6.8%)	1,346	+68%
	その他	△264	△320	△55	
	調整	△3,025	△3,320	△294	
	合計	10,347 (8.3%)	13,974 (8.9%)	3,626	+35%

FY2022 Q3累計増減益分析（営業利益ベース:前年同期比）

(単位：億円)



I. 2023年3月期第3四半期 決算報告

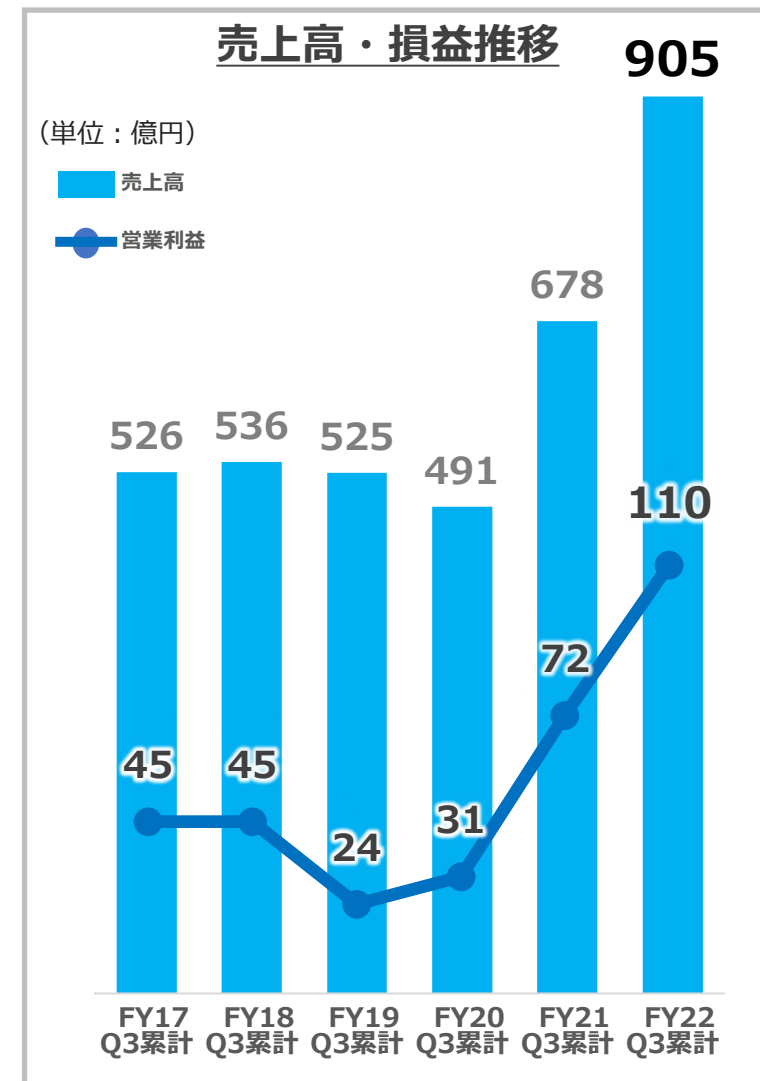
I-1. 2023年3月期第3四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

■ 売上高・利益 過去最高

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022		
	Q3累計実績	Q3累計実績	前年同期比	%
売上高	67,812	90,488	22,675	+33%
営業利益 (営業利益率)	7,248 (10.7%)	11,009 (12.2%)	3,761	+52%
為替 換算レート (期中平均)	USD 111.38 円	135.40 円	24.02 円	
	EUR 130.85 円	140.42 円	9.57 円	



業績要因分析

全般

- 部材不足の影響も、北米の非住宅建設関連等の好調な需要を取込み大幅増収増益
- 部材・物流費高騰の影響継続

ICT自動化施工・IT農業

- アフターマーケット・OEM共に販売好調継続

測量機・レーザー機器

- 測量機は部材不足、レーザーは住宅投資減の影響で販売鈍化

■ 売上高 過去最高

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022		
	Q3累計実績	Q3累計実績	前年同期比	%
売上高	28,027	30,636	2,609	+9%
営業利益 (営業利益率)	4,405 (15.7%)	3,275 (10.7%)	△1,130	△ 26%
為替 換算レート (期中平均)	USD 111.38 円	135.40 円	24.02 円	
	EUR 130.85 円	140.42 円	9.57 円	

業績要因分析

全般

- 国内向け販売好調、アジア・中東は回復基調
- 部材不足に伴う測量機生産減の影響継続

国内ICT自動化施工・IT農業

- 注力している中小型建機・農機向け自動化システムの受注好調

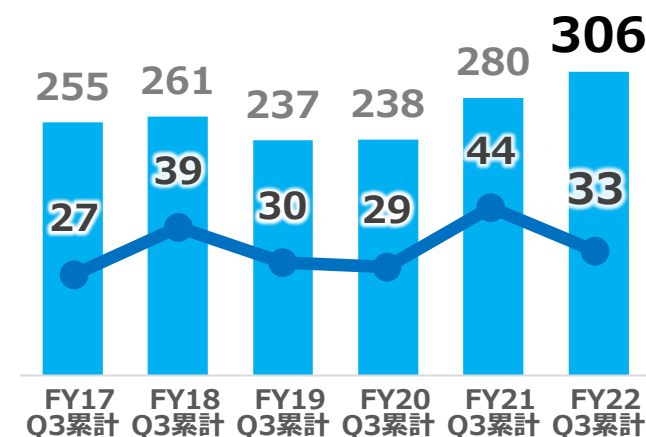
成長投資

- 建築DX：展示会活用で新規顧客開拓
- アジア：市場開拓に向けた人材獲得、組織強化

売上高・損益推移

(単位：億円)

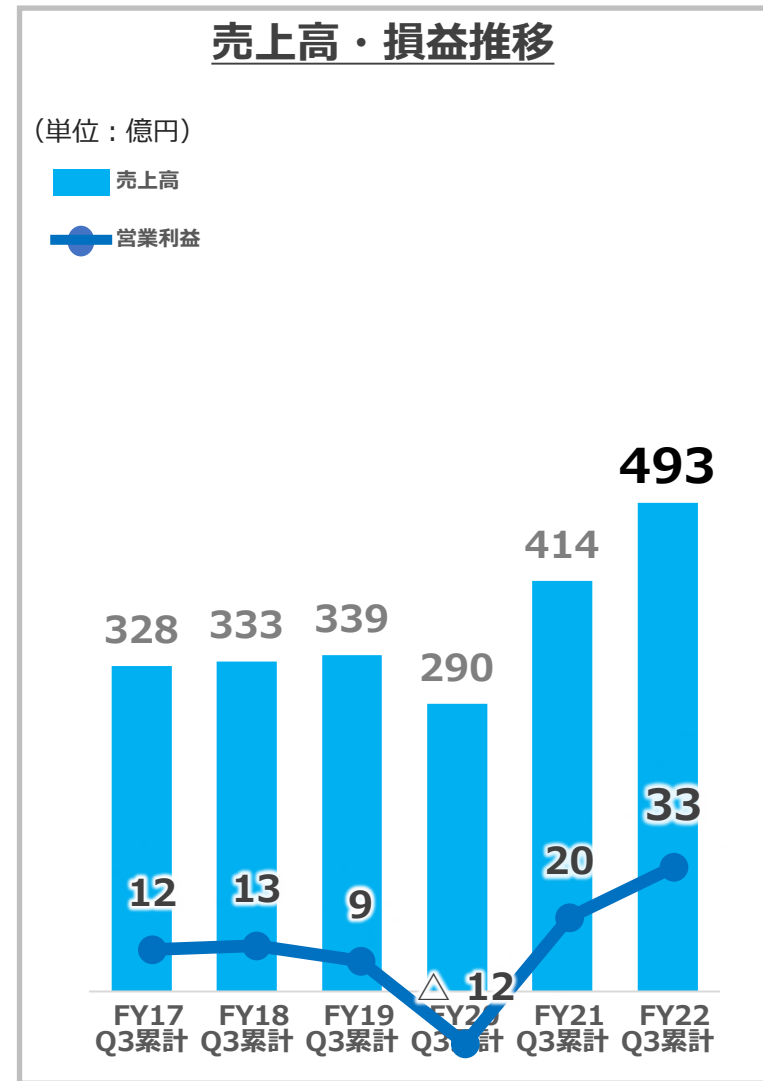
■ 売上高
● 営業利益



売上高 過去最高

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022		
	Q3累計実績	Q3累計実績	前年同期比	%
売上高	41,360	49,289	7,929	+19%
営業利益 (営業利益率)	1,983 (4.8%)	3,329 (6.8%)	1,346	+68%
為替 換算レート (期中平均)	USD 111.38 円	135.40 円	24.02 円	
	EUR 130.85 円	140.42 円	9.57 円	



業績要因分析

全般

- 部材不足による影響も、欧米向け好調な販売で大幅増収増益
- 中国は新型コロナ影響の長期化により販売減
- 部材・物流費高騰の影響継続

スクリーニングビジネス

- Maestro/NW400を中心に好調な販売継続

デジタル検眼システム

- 欧米大手眼鏡チェーン向け販売好調

Ⅱ. 2023年3月期 通期見通し

FY2022 通期見通し

■ 上方修正

事業環境の見通し

- 米国での非住宅建設投資の増加を背景に、底堅い需要が継続
- 主要市場における建設、農業、医療各分野での人材不足による省力化ニーズの高まり

マクロ環境の見通し

- 部材不足及び価格高騰の影響継続
- 世界的な金融引締めによる景気後退リスク
- ロシア・ウクライナ戦争等の地政学リスク
- 中国経済の新型コロナウイルス感染拡大による不透明感

第3四半期までの実績及び上記事業環境・マクロ環境の見通しを鑑み、以下の通り業績見直しを見直す

新公表値

	旧公表値 (10/28)	新公表値 (1/30)	旧公表値比	前年度 (FY2021)	前年度比
売上高	2,000億円	2,050億円	+3%	1,764億円	+16%
営業利益	190億円	195億円	+3%	159億円	+23%
経常利益	180億円	180億円	-	148億円	+21%
純利益	125億円	125億円	-	107億円	+17%
配当	42円	42円	-	36円	+6円

Q4為替前提：\$=130円/€=135円は変更なし
©2023 Topcon Corporation

FY2022 通期見通し

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022		
		通期見通し	前年度比 (%)	2022年10月28日公表値
売上高	176,421	205,000	+16%	200,000
営業利益 (営業利益率)	15,914 (9.0%)	19,500 (9.5%)	+23%	19,000 (9.5%)
経常利益	14,820	18,000	+21%	18,000
純利益	10,699	12,500	+17%	12,500
ROE	14.0%	14%		14%
配当	36円	42円	+6円	42円
為替換算レート (期中平均)	USD EUR	112.86円 131.01円	(Q4前提 レート)	130.00円 135.00円

FY2022 通期見通し (事業別)

(単位：百万円)

		FY2021	FY2022		
		通期 実績	通期 見通し	前年度比 (%)	2022年 10月28日 公表値
売上高	ポジショニング	96,692	118,000	+22%	113,000
	スマートインフラ	39,040	42,000	+8%	43,000
	アイケア	57,352	65,000	+13%	65,000
	その他	1,184	1,000		1,000
	消去	△17,848	△21,000		△22,000
	合計	176,421	205,000	+16%	200,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	11,548 (11.9%)	14,500 (12.3%)	+26%	13,500 (11.9%)
	スマートインフラ	5,821 (14.9%)	5,000 (11.9%)	△14%	5,500 (12.8%)
	アイケア	3,203 (5.6%)	5,000 (7.7%)	+56%	5,000 (7.7%)
	その他	△365	△400		△400
	調整	△4,293	△4,600		△4,600
	合計	15,914 (9.0%)	19,500 (9.5%)	+23%	19,000 (9.5%)

Ⅲ. トピックス

■ 活況な米国建設関連展示会 ➡ 米国インフラ建設市場の堅調さを証明



開催済
(毎年開催)

米国大型建設展「World of Concrete」

開催日程：2023年1月17日～19日
開催場所：ラスベガス
来場者数：約5万人(昨年実績3.3万人)

昨年を大きく上回る受注獲得



開催予定
(3年毎開催)

米国最大の建機展「CONEXPO」

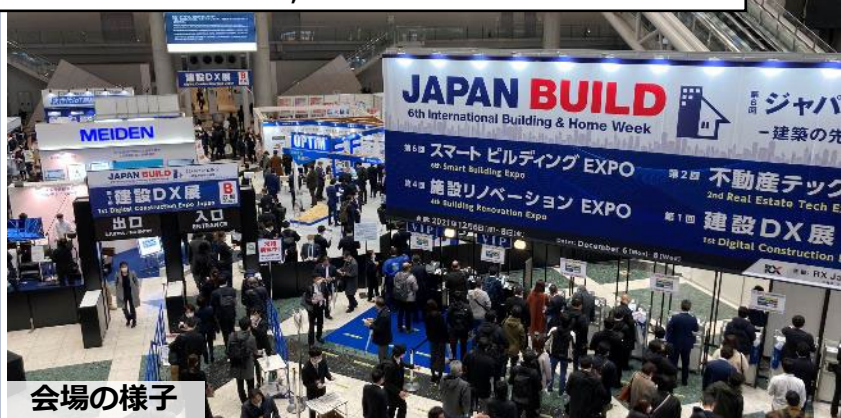
開催時期：2023年3月14日～18日開催予定
開催場所：ラスベガス
来場者数：約13万人（見込）

前回（2020年）はコロナ影響で途中閉会



■ 成長投資の一環である、建築DXビジネス 大型建築展示会「JAPAN BUILD 2022」へ出展

開催日程 : 2022年12月5日～7日
開催場所 : 東京ビッグサイト
来場者数 : 31,000人



会場の様子



**住宅メーカー、工務店、ビル建設業等
新規顧客の獲得に成功！**

従来作業



紙図面でのマニュアル作業



複数の作業員による
アナログ作業

生産性を高める当社ソリューション

- ✓ デジタル測量機で1人で作業
- ✓ 時間短縮
- ✓ 精度向上



CAD図面から座標
データを簡単抽出



NEW



高精度位置出し機



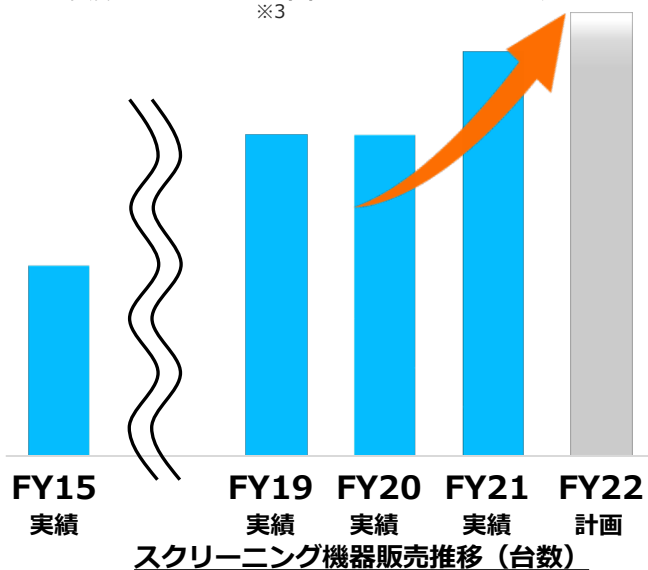
1人作業用位置
出しスマホアプリ

■ 好調な大手眼鏡チェーン店向けビジネス

スクリーニング機器



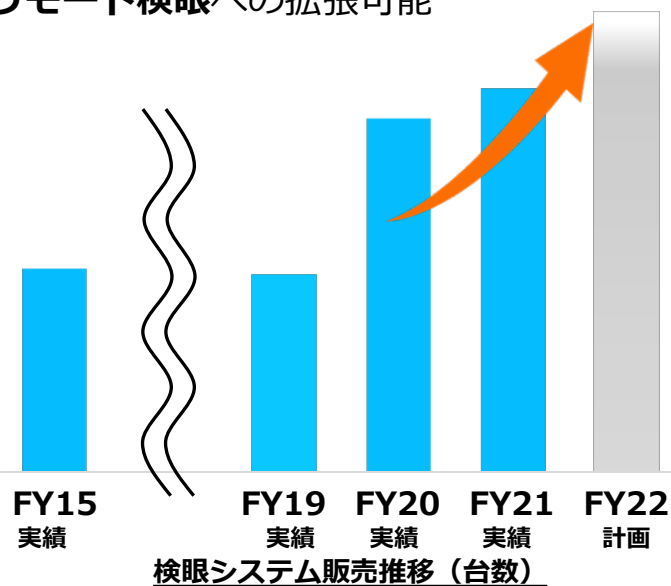
- ・フルオート機能による簡単操作で高画質
- ・大手眼鏡チェーン店が差別化に活用
※3



デジタル検眼システム



- ・検査情報のデジタル管理による効率化
- ・リモート検眼への拡張可能



ソフトウェア

大手眼鏡チェーン店での経営効率化を実現するプラットフォームソフトウェア

患者データマネジメントソフトウェア



Topcon Harmony

リモート検眼ソフト



Topcon RDx

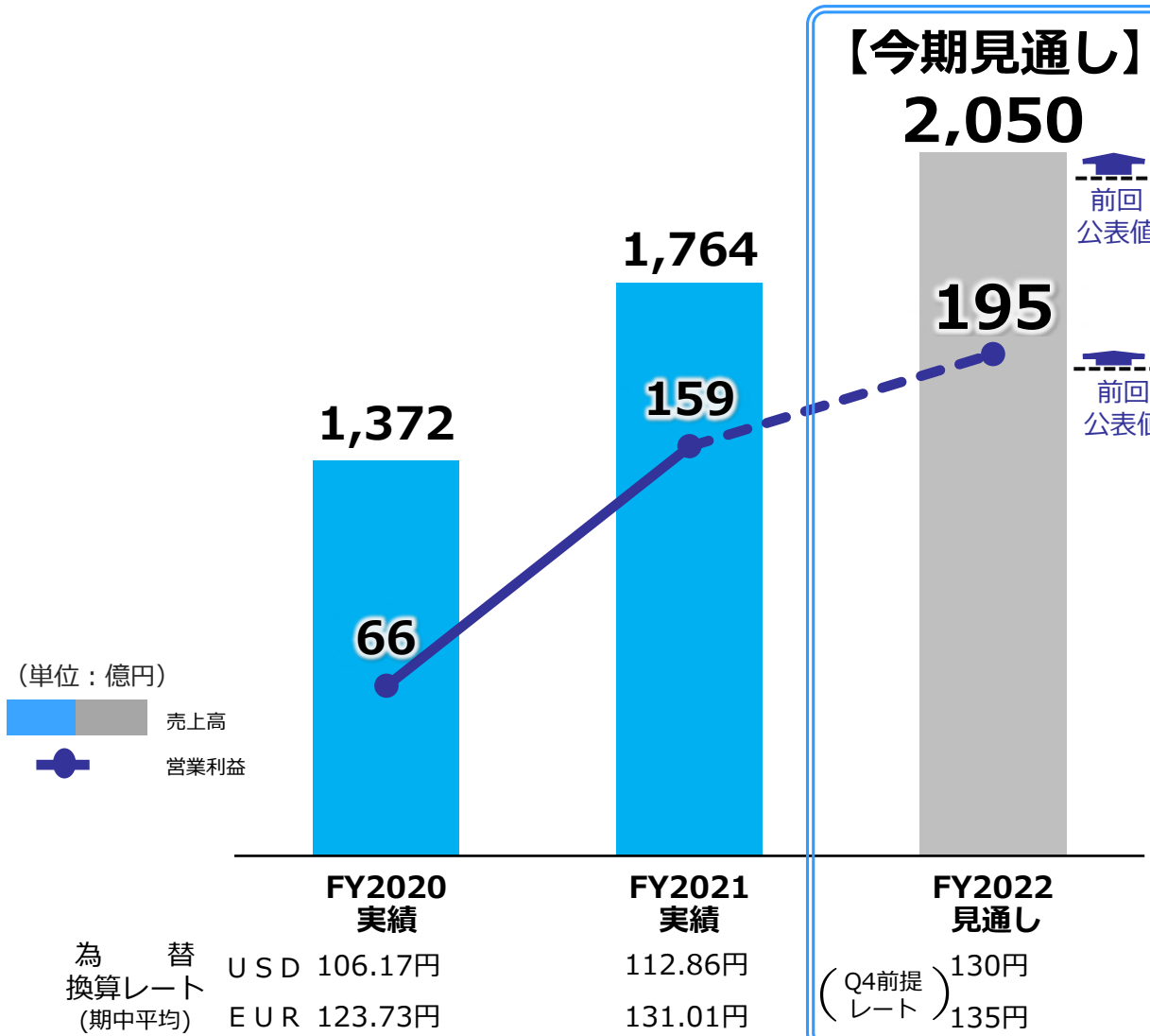
当社の強み

ハード・ソフトの
トータルソリューションを提供

IV. まとめ

まとめ

売上高・利益・配当 過去最高



【今期見通し】

2,050 +50

前回
公表値

195 +5

前回
公表値

増収・増益・増配

	見通し	前年度比
売上高	2,050億円	+16%
営業利益	195億円	+23%
経常利益	180億円	+21%
純利益	125億円	+17%
配当	見通し 42円	+6円

為替
 替換レート
 (期中平均)

USD	106.17円
EUR	123.73円

(Q4前提
 レート)

130円
135円

Topcon for Human Life

世界を丸く。



尖ったDXで、

DX銘柄
3年連続受賞

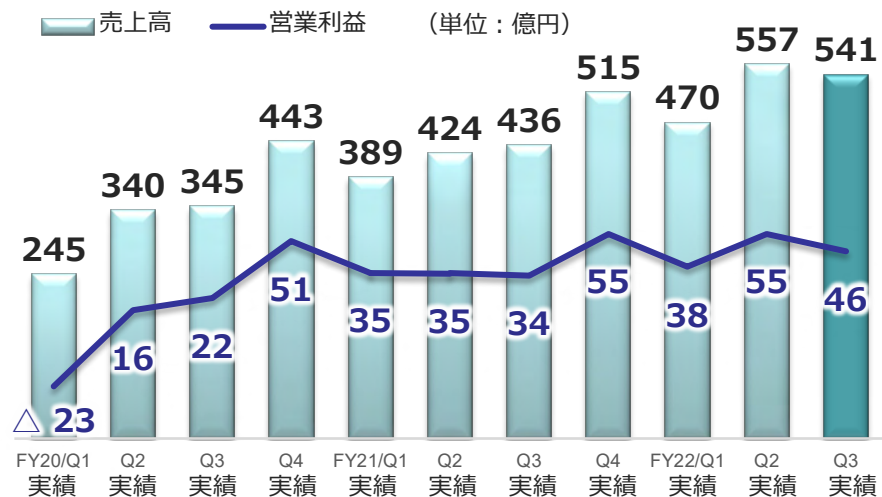


DX銘柄2022
Digital Transformation

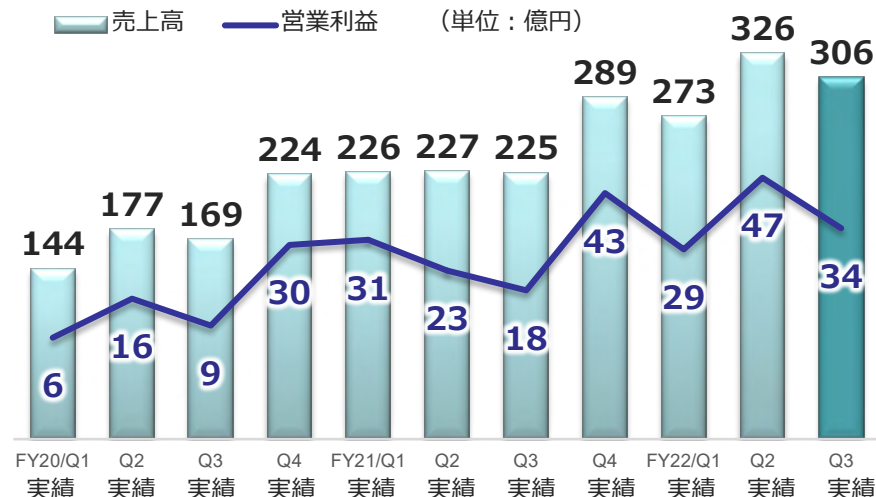
V. 参考資料

四半期別業績推移

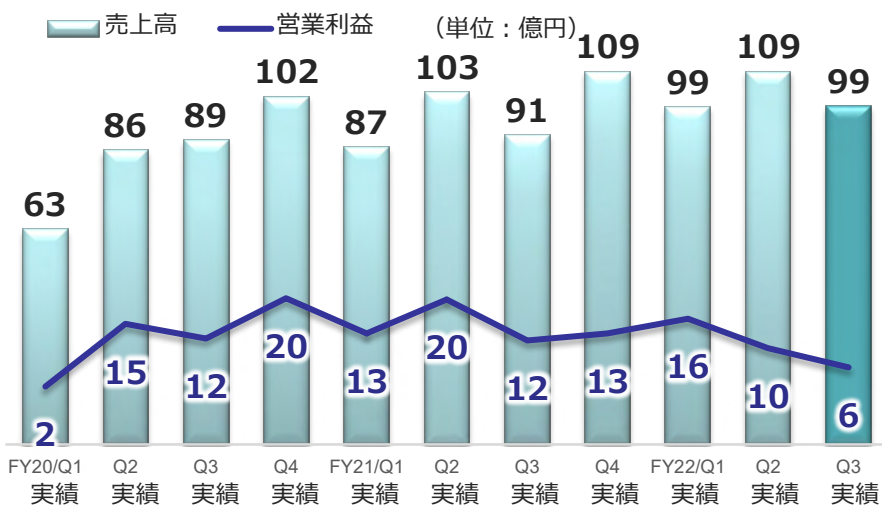
■ 全社



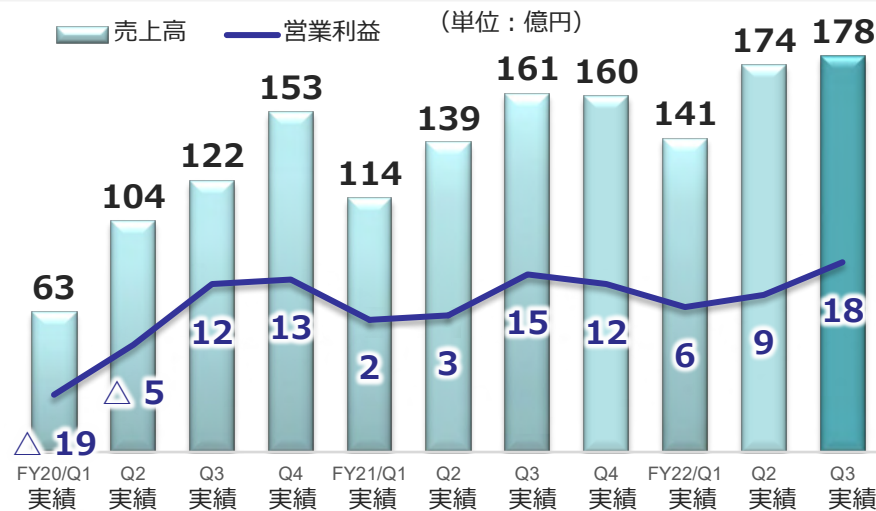
■ ポジショニング・カンパニー



■ スマートインフラ・ビジネス

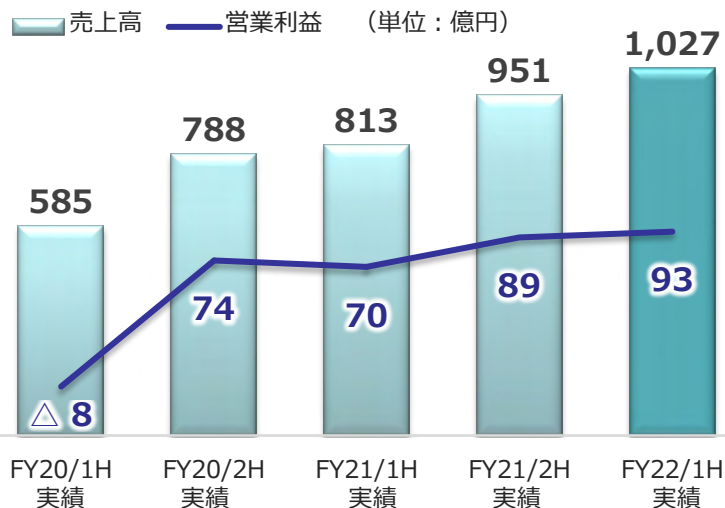


■ アイケア・ビジネス

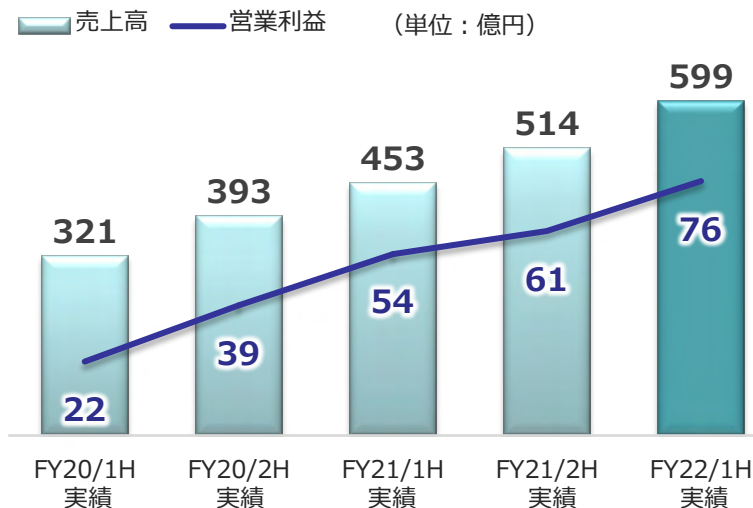


半期別業績推移

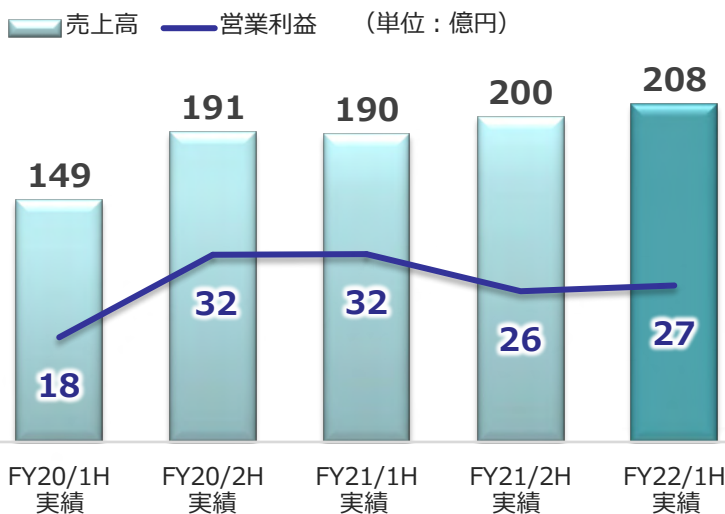
■ 全社



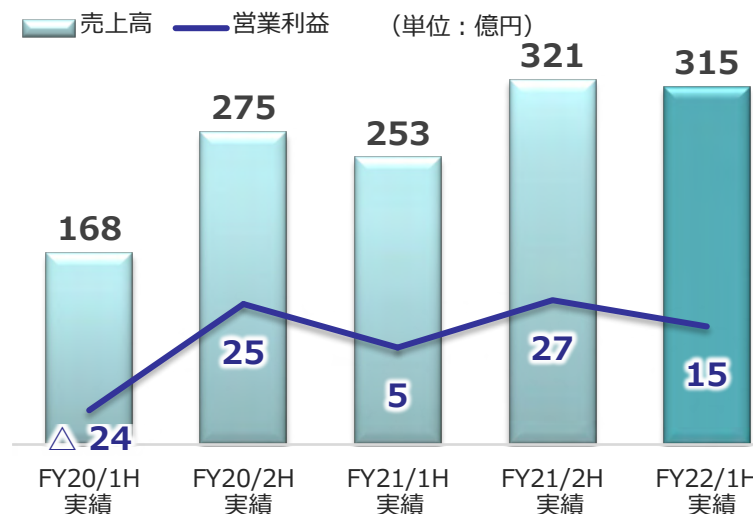
■ ポジショニング・カンパニー



■ スマートインフラ・ビジネス

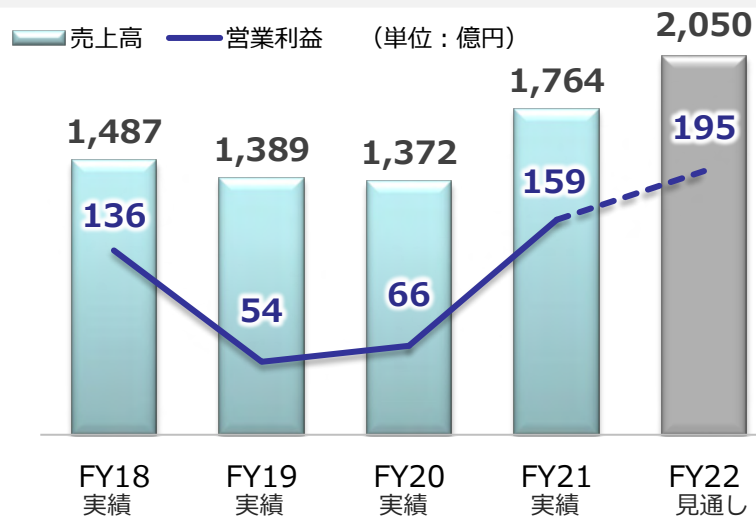


■ アイケア・ビジネス

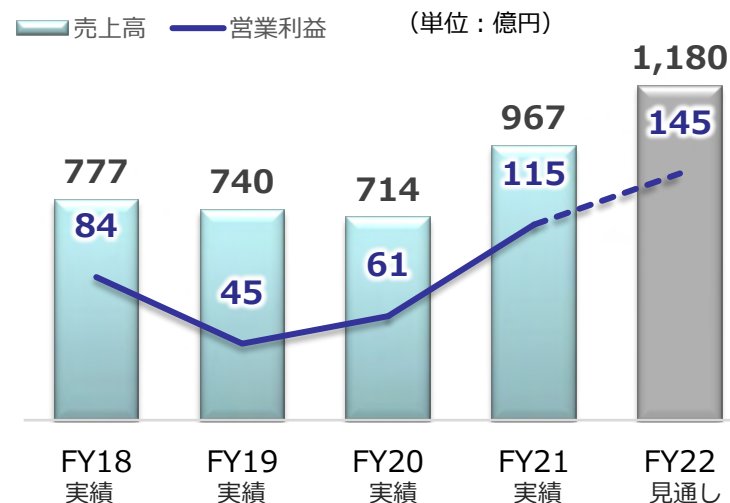


年度別業績推移・見通し

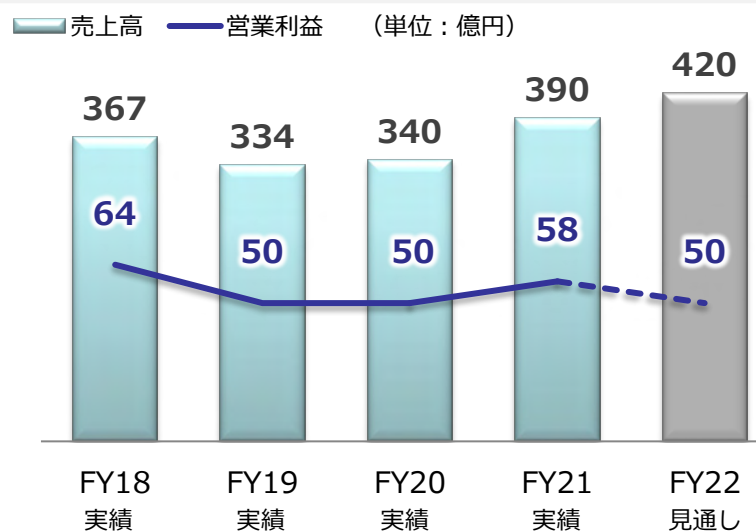
■ 全社



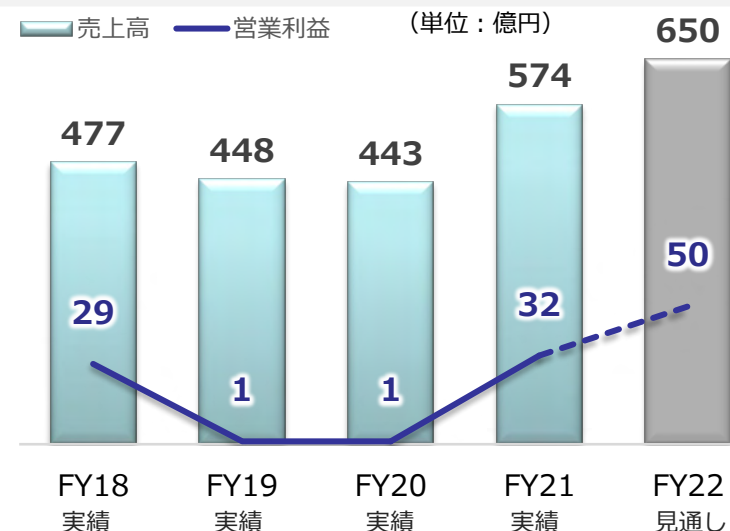
■ ポジショニング・カンパニー



■ スマートインフラ・ビジネス



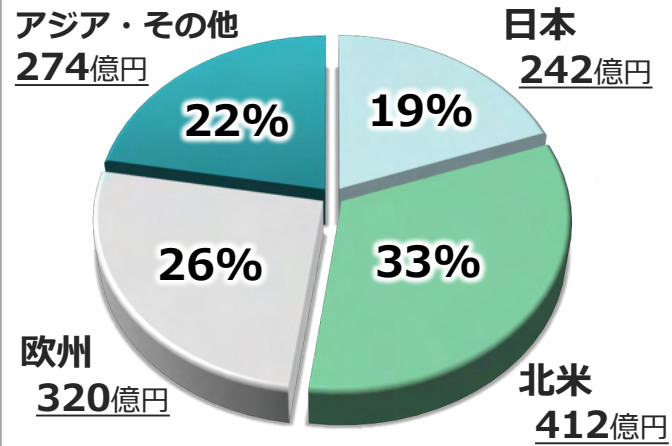
■ アイケア・ビジネス



地域別売上高

FY2021/Q3累計

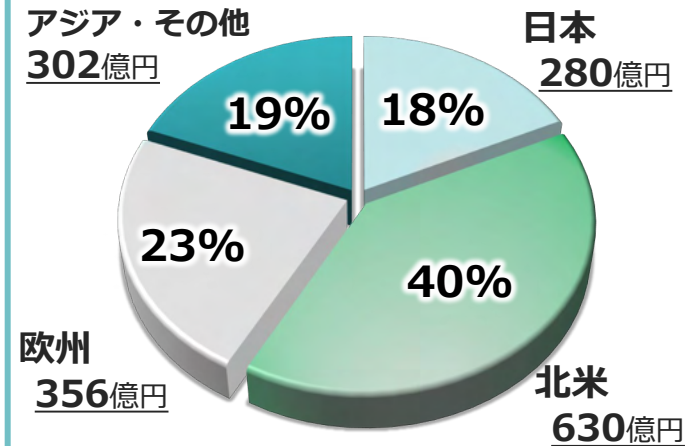
1,248億円



前年同期比
+26%

FY2022/Q3累計

1,568億円

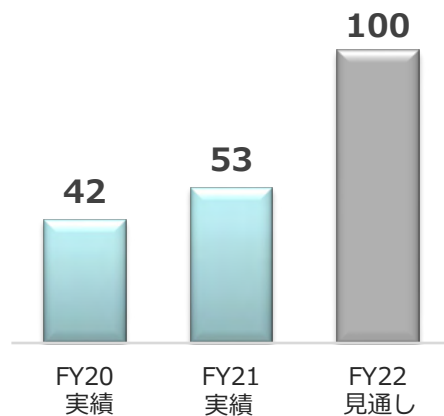


設備投資および研究開発費 / 為替感応度

■ 投資額・費用見通し

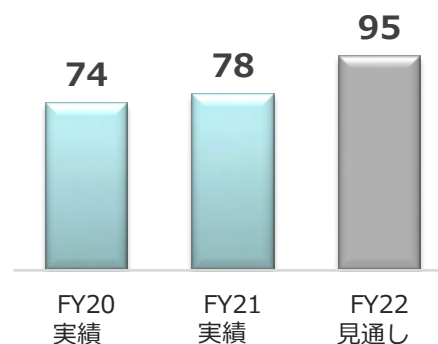
設備投資額

(単位：億円)



減価償却費*

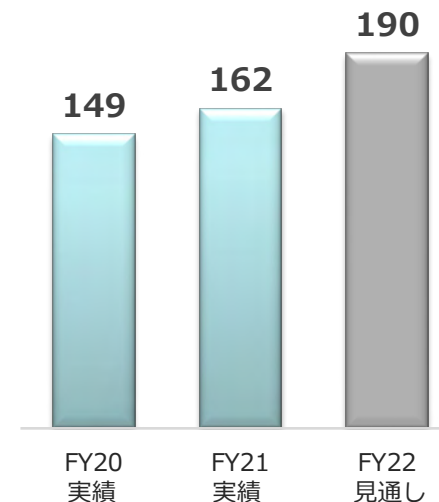
(単位：億円)



*のれん償却費を除く

研究開発費

(単位：億円)



■ 為替感応度（1円の変動による影響額）

USD：営業利益 1.5～2億円

EUR：営業利益 0.7～1億円

Topcon Report 2022 (統合報告書)

■ 非財務情報コンテンツを更に充実化させた統合報告書



ホームページにアクセス下さい。

■ ホームページ : <https://www.topcon.co.jp/invest/library/integration/>



代表取締役社長CEO **平野 聡**

- トップコン挑戦の歴史と未来
- ベンチャー魂
- サステナビリティへの取り組み



- 議論活発なガバナンス
- ビジネス自体がSDGs



PDF 分割ダウンロード




コンテンツ

- トップメッセージ
- トップコンの価値創造
- 事業別戦略
- サステナビリティ
- ガバナンス
- 財務ハイライト

個人投資家向けオンライン説明会実施 (2022年12月10日)

■ 当社の事業の概要や強みを分かりやすく説明

■ URL : <https://finance.logmi.jp/377643>



掲載企業を探す

ログ

- ログTOP
- 決算説明会
- 個人投資家向け説明会
- その他
- ログを探す
- 決算説明会カレンダー

IRセミナー

- IR Live TOP
- 開催予定セミナー
- オリジナルIRセミナー
- IRセミナー特集

トプコン、医・食・住のDX化で社会的課題を世界中で解決している創業90年のベンチャー企業、海外売上比率81%

ログミーFinance 第46回 個人投資家向けIRセミナー Zoom ウェビナー 第4部・株式会社トプコン

創業90年のベンチャー企業経営！



平山貴昭氏（以下、平山）：よろしくお願いの企業経営！」と題し、トプコンの事業紹介をさせていただきます。

「創業90年」と「ベンチャー」、一見相反するが、弊社は90年に渡り継承された伝統を大切に生き抜くためには、失敗を恐れず挑戦するベンチャーと考えています。そのような意味で、「創業90年」レースにしています。

Topcon for Human Life

本日の内容

- I. トプコンの目指す方向
- II. 会社概要・事業の変遷
- III. トプコンの強み
- IV. 事業の概要
- V. 業績/株価の推移
- VI. 株主還元
- VII. トピックス

株式会社トプコン
7732・東証プライム・精密機器

+ フォロー

2022年12月10日にログミーFinance主催で行われた、第46回 個人投資家向けIRセミナー Zoom ウェビナーの第4部・株式会社トプコンの講演の内容を書き起こしでお伝えします。

スピーカー 株式会社トプコン 執行役員 広報・IR室長 平山貴昭 氏
元・ファンドマネージャー/元・ディーラー 坂本倫太郎 (Bコミ) 氏
経済アナリスト/経営コンサルタント 瑞井麻里子 氏

提供 株式会社トプコン

企業ホームページ <https://www.topcon.co.jp>



- 創業90年のベンチャー企業経営！
- 本日の内容
- I. トプコンの目指す方向
- トプコンの目指す方向①
- トプコンの目指す方向②
- トプコンの目指す方向③
- トプコンの目指す方向④

(ビデオに加え書き起こしも掲載されています)

SDGsへの取組み：CO2排出量削減への貢献

■ 建機・農機の自動化システムそのものが環境負荷低減に貢献

ICT自動化施工



住 Infrastructure

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

**建機の自動化により
稼働時間を約3割※1低減**

当社製品による
CO2排出削減量
(当社推定)

全世界
60万トン/年※2

IT農業



食 Agriculture

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

**農機の自動操舵システムにより
稼働時間を約2割※3低減**

当社製品による
CO2排出削減量
(当社推定)

全世界
50万トン/年※4

**ベンダーニュートラルの強みにより
既存の各社建機・農機を後付けて自動化**

**自動化の普及拡大で
更なるCO2削減が期待**

※1：出典-国土交通省i-Construction 推進コンソーシアム 「i-Constructionの進捗状況」(2019) https://www.mlit.go.jp/tec/i-construction/pdf/03_5_kikaku_siryu_u6.pdf

※2：算定根拠
建機1台あたりの年間CO2排出量推定値に、ICT施工の活用による作業時間想定削減率を乗じた建機1台あたりのCO2排出削減量をもとに、ICT自動化施工機器の全世界での推定稼働台数と当社推定シェアを乗じて計算

※ i-Constructionは、国土交通省国土技術政策総合研究所の登録商標です。

※3：出典-AEM 「The Environmental Benefits of Precision Agriculture in the United States」(2020) <https://newsroom.aem.org/asset/977839/environmentalbenefitsofprecisionagriculture-2#.YBdQZR2Lc74.link>

※4：算定根拠
農業用トラクター1台あたりの年間CO2排出量推定値に、オートステアリングシステムの活用による燃料消費想定削減率を乗じた農機1台あたりのCO2排出削減量をもとに、オートステアリングシステムによる自動操舵トラクターの全世界での推定稼働台数と当社推定シェアを乗じて計算

非財務情報について

■ サステナビリティ関連の外部評価

2022 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

女性活躍推進法により開示される女性雇用に関するデータに基づき、多面的に性別多様性スコアを算出し、業種毎に同スコアの高い企業を選別するインデックスへ採用



■ ニュースリリース : <https://www.topcon.co.jp/news/10361/>



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスへ採用



■ ニュースリリース : <https://www.topcon.co.jp/news/9527/>



第4回日経SDGs経営調査

国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組みを格付けする調査において3年連続3つ星半を獲得



■ ニュースリリース : <https://www.topcon.co.jp/topics/10872/>

非財務情報について

- コーポレートホームページ上の当社が取り組む社会課題、SDGs等を説明したサステナビリティページ





当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <https://www.topcon.co.jp>